Culib News（クリブニュース）
No.68　2011年4月1日　中京大学図書館発行

図書館長就任にあたって

中京大学図書館長　佐藤　隆

このたび、安村仁志先生そして棚橋純一先生のあとを受け、教育研究機関の要である図書館長という大役を仰せつかりました。もとより微力ではありますが、教職員の方々や学園関係者の方々のご支援とご協力を賜りまして、図書館がより機能を発揮できるよう務める所存です。どうぞよろしく、お願い申し上げます。

前任の棚橋先生のお言葉を借用すれば、前々任の安村先生は、図書館がその使命を果たすよう様々な努力をされました。具体的には、学生用図書が整うよう予算体系を見直し、学生が授業後も利用できるよう開館時間を延長し、学生との交流をはかるライブラリー・サロンや、学生が興味を持つ各種展示・イベントを開催されました。また、名古屋図書館のある老朽化した１号館の建て直しと言う好機を得て、今後の有るべき図書館を模索され、新名古屋図書館構想として示されました。

前任の棚橋先生は、新名古屋図書館の建設に向け、検討委員会を設置して集中討議して具体的構想案を示し、建設施工に大きく寄与されました。すでに示されているように、コンセプトは「真剣味の学業を幅広く援するマルチスタイル図書館」であります。八事興正寺との地縁から、新図書館「本堂」と新図書館「奥の院」と名付けられた２棟からなる図書館です。新図書館「本堂」は、開架ベースの閲覧学習環境と多彩なサービスの提供をめざし、新図書館「奥の院」は、積層型書架と自動書庫を採用して収容能力の大幅増加をはかられました。貴重本を保管する専用書庫も計画に入りました。

「奥の院」と呼ばれる図書館付属新棟は、すでに完成し稼働しております。今後「本堂」が完成し有機的結合がなされたとき、新名古屋図書館の機能は飛躍的に発揮されましょう。

以上のように、安村先生は学生の探求心に視線をおくり、学生と図書館との結びつきに努力されました。棚橋先生は学生の研究環境に視線をおくり、自動書庫を採用しIT活用の整備に努力されました。図書館の将来構想を考えるとき、何れの視線も重要な要素と考えます。興正寺との地縁から言えば、「仏作って魂入れず」の、古人の言葉が思い起こされます。

個人的には、「図書館」と言う名称に何となくこころよい響きを感じ、早春の日溜まりで手にした本を思い起こします。それは小学生の頃の未知的で魅惑的な図書室の思い出から出発しているように感じます。図書室の図書は魅力的な空想世界に誘ってくれ、新しい知識を与えてくれました。

その図書も様々に変化しています。紙書籍から電子書籍への移行も生まれています。従来の図書の範疇に入る内容が、電子情報としていたるところに溢れています。

大学図書館は、従来型の図書に重きを置くことは当然でありますが、さらに電子情報など新「図書」とも言うべき分野にも視野を広げ、その利用要望に応えることが必要と考えます。また、学生の図書館利用に対する意識変化にも注目すべきでしょう。幸いに、新名古屋図書館構想のコンセプトは「マルチスタイル図書館」であります。図書委員の先生方や図書館職員の方々と討議し、有るべき中京大学図書館を模索していきたいと存じます。

今年の２月中旬に、垂れ梅を購入しました。室内にて育てましたので、下旬には枝もたわわに花をつけ、私の心を癒してくれました。３月に入りまして、花に続いてそれぞれの枝に若葉が出てまいりました。朝日を受けますと光を透き通す汚れのない新緑の若葉です。この若葉に促され、心新たに職務を進めますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

図書館の新たな発展を祈る

前図書館長　棚橋 純一

図書館長の大役、２年という短い期間でしたが、何とか責務を果たすことができました。これも多くの皆様からのご支援・ご協力をいただいたお陰であり、深く感謝申し上げます。

在任中頭を離れなかった課題は、名古屋図書館の建て直しに関するものでした。新図書館の構想を具体化させることや、第一期工事で実現の付属新棟に旧名古屋図書館の大量の書籍と機能を速やかに移し、2010年秋学期に間に合うよう運用を始めることが求められました。さらに付属新棟には新たに自動書庫が導入され、それを順調に稼働させることも必要条件でした。幸い関係者の懸命な努力により、目標通りのスケジュールで運用を開始でき、自動書庫も順調に立ち上げることができました。

名古屋図書館の第二期工事つまり本館部分の工事はこれからです。建設プランには、新図書館にふさわしい機能を備えるよう、具体的アイデアをいろいろと盛り込みました。まず個人単位の閲覧席を多く確保するとともに、柔軟な構成が可能なグループ学習室も導入することにしました。また紙ベースの本や資料に加えて、PC・インターネット・電子書籍など様々な IT 環境が利用できる学習環境も積極的に用意するようにしました。さらに異色の取り組みとして、仲間と気楽に話ができ心が休まるコーナーの導入もプランに入れました。

このようなアイデアを盛り込んだ本館部分の完成は２年後ですが、各試みが多くの利用者に受け入れられ、期待通りの効果を発揮することを願っております。

最後になりましたが、新館長のリーダーシップのもと、中京大学図書館が新たな発展をされますよう心からお祈り申し上げます。

児童文学の旅⑱

―長野県・黒姫高原：黒姫童話館―

原　　昌

長野で信州本線に乗りかえると、６つ目の駅に「黒姫」がある。古い駅で1883年に開設され、「柏原」駅と言われたが、高原開発に伴い、その玄関口として「黒姫」と改称されたという。私が訪れたのは数年前の晩夏だったが、駅舎を出て、ふと気づいたのが、傍らに丸みを帯びた大きな石があり、小林一茶の句碑であった。古いせいか、訪れた人たちが触れたのか、彫りが薄れ、かすかに文字が見える:「蟻の道　雲の峰より　つづきけん」。はるか昔、一茶はこの地を訪れていたのである。

バス停に行き、黒姫高原行きのバスで「童話館」に向かった。童話館前で降りると、黒姫山麓の草原に、100万本といわれるコスモスが咲き誇っていた。赤・白・黄・紫色の小さな花々が、山から吹いてくる、晩夏の風にいっせいに揺らいでいた。一瞬、現世から遠のいた楽園に来た思いであった。

はるか遠くには、二つの峰に挟まれ、雪の帽子をかぶった高峰が、くっきりと覗いている。それは、一枚の美しい風景画でもあった。

この山麓に、黒姫童話館がある。やや小高い丘にたたずんだ、西洋風のキャッスルを思わせる、濃茶のメルヘンティックな建物であった。

黒姫童話館

館内にはいると、ドイツのミヒャエル・エンデの「モモ」や「はてしない物語」の自筆原稿、かれの描いた絵、それに手紙などが展示されていた。1992年、エンデは日本人妻と共に、この地を訪れている。これらの資料は、エンデ自身の寄贈でもあった。また、この童話館のとなりに、絵本画家いわさき・ちひろの「黒姫山荘」がある。ちひろはここで、代表作の一つ、宮澤賢治の『花の童話集』を描いたという。

黒姫は、山と草原の美しさとともに、多くの芸術家や文学者たちを魅惑してきた。そして、いくつもの伝説を生んだところでもある。

「黒姫と白蛇」高梨家一族の花見の宴があり、高梨家の娘･黒姫のまえに一ひきの白蛇が現れる。姫はこの白蛇にも酒杯を授けてやる。その晩、殿のところに、りっぱな若者（白蛇の化身）が来て、黒姫を妻に欲しいという。殿は断るが、その若ものは、毎日やって来て頼む。その熱心さに、姫は心を惹かれていく。だが殿は拒み、ある罠を仕掛ける。罠に陥った若者は激怒、龍に戻って、天に昇っていく。やがて、大嵐がきて、洪水となる。姫が「龍よ、あなたのところへ行きましょう」と、呼びかけると、たちまち嵐は静まり、龍は姫をつれて天に昇っていったと言う。（黒姫童話館編『童話の森』）

こころ打つ、美しい物語である。古くから民衆によって伝承された、黒姫伝説の一つである。

（中京大学名誉教授）

基礎ゼミ「古書籍に触れてみよう」を受講して

（国際教養学部）板倉加奈、影山樹、西尾恵莉奈、古川明里、宮奈津美、山村梨彩子、
（法学部）早藤直喜、村上健太、（経営学部）若杉明典、（担当・国際教養学部）明木茂夫

私たちは図書館所蔵の古書籍に実際に触れて、古書籍についていろいろ調べてみる、という基礎ゼミを受講しました。まずガイダンスで最新の自動書庫の稼働する様子と、歴史の詰まった貴重本書庫を見学して、それからグループ学習室での授業が始まります。まずは古書を扱う際のマナーや基礎知識から。やはり基本は、二冊と同じものはない古書に対して愛情と責任をもって丁寧に扱うことです。本の各部の名称についても確認しました。日常的に手にしている書籍の各部には細かい名前が付いていて、「帯」「背」「扉」「見返し」など普通に知っているものもある一方で、中には「天･地」「小口」「のど」「花布（はなぎれ）」「耳」など意外と知らないものが多く、また「表紙」と「カバー」と「ジャケット」はごっちゃにしていた人が結構いました。

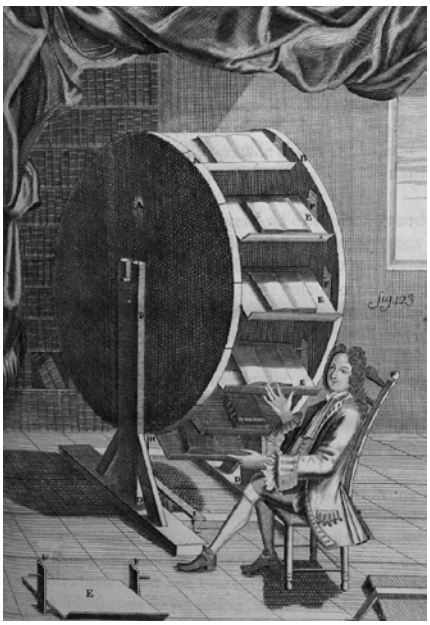
和書や漢籍はいわゆる糸綴じになっていて、今の洋装本とは異なります。一番大きな違いは、２ページ分を並べて１枚に印刷し、半分に折ってページの裏表とし、それを重ねて糸で綴じて製本することです。だからページ数（葉数）の付け方が今の本とは異なり、第何葉の表／裏と数えます。また小口の部分はページの折り目に当たるので、ここを指でパラパラとめくると折り目がすり切れてしまうことにも十分注意が必要です。そして図書館には、実際に印刷に使った版木の実物も保存されていて、職人さんの彫刻刀の跡まではっきり分かりました。

基礎知識を学んだところで、いくつか面白そうな古書の実物を読んでみました。まず中国・清代の版本『三国演義』です。やや版木が傷んでいて字の読みにくいところがありましたが、登場人物の図像もあって、楽しめます。先生の指導で一部原文を読んでみました。漢文の、それも白話という文体で、とても読めそうにないと思いましたが、一字ずつ漢字を調べながらゆっくり読むと、大体の内容や筋は読み取れて、だんだん面白くなりました。

それから西洋の古書籍も見てみました。一番驚いたのが、1704年初版のサルマナザール著『台湾誌』（*An historical and geographical description of Formosa*）です。この本が一体どういう本なのかを調べる宿題が出たので、調べてみると何と、ここに書かれた内容は全て捏造だったということが分かりました。著者のサルマナザールは台湾には行ったことさえなく、わざわざ一覧表まで作っている台湾文字もみんなでっち上げだったということで、いわゆる偽書として有名な本だったのです。これを当時の西洋の知識人が一時的とはいえ信じていたというのは、面白いと同時に、これも一つの歴史なんだなと感じました。

もう一つこの『台湾誌』で面白かったことは、見返しに「エクスリブリス」と言う、当時の蔵書家が意匠を凝らした「蔵書票」が貼ってあったことです。受講生の村上健太君が、蔵書票に印刷された名前と紋章を手懸かりに、その人がどういう人だったかを突き止めて、先生に褒められていました。子孫が今も英国にいるという名家だそうです。

また1751初版のグロリエ・ド・セルヴィエール著『数学と機械工学の図面集』（*Recueil d'ouvrages*



curieux de mathematique et de mecanique）もとても面白い本でした。時計や機械や水揚げ機や可動橋など、当時の様々な発明品の図に説明が付いています。中には一体何をする機械なのかちっとも分からない奇妙な図もあります。しかし本文はフランス語で、それも今のフランス語ではないので、さっぱり分かりません。そこで当てずっぽうで辞書を引き、分からないところはフランス語の伊藤進先生に教えていただいて、これが何の機械なのかを調べて行くのです。何の絵なのかだんだん分かってきた時には、ちょっと達成感を覚えました。自動書見台(図)は、実際に作るのは可能でしょうが、本当に実用性があったのでしょうか。攻城兵器は実際に使ったものもあるのかも知れません。水揚げ機や橋などは人々の役に立った可能性もあるけれど、メンテナンスが大変でしょう。でも中には物理法則からして無理だろうと思えるものもあって、笑えました。

またこの本に挿入された図は全て銅版画だと言うことです。そう言われると、文字のページは文字ばかり、図のページは図だけで活字は使われていない。これは同じページに活字と銅版を一緒に入れるのが難しかったからでしょう。そして銅版画の部分は、よく見ると印刷の際に銅版を押しつけた跡が図の周囲に必ずうっすらと残っていて、なるほどと思いました。

それから1813年初版のジョセフ・ギーニュの『漢字西譯』（中・仏・羅辞典・*Dictionnaire chinois, français et latin*）という分厚く大きな辞書も見せてもらいました。中国語とフランス語とラテン語の辞書で、漢字が見出し字になっていて、それぞれフランス語とラテン語の解説が付けられています。また漢字にはローマ字で発音が表記されていますが、当時の中国語の発音が今とどう違っていたか、そしてそれを聞いた西洋人がどういう方式でローマ字表記を行ったか、ということを知るには貴重な資料となります。特にこの辞書には、収録された全ての漢字に、細いペンで丁寧な書き込みがあります。同じ辞書は他の図書館にあっても、この手書きはここにしかありません。先生によると、辞書に印刷されたローマ字とは明らかに別の系統の発音が注記されているとのことでした。さらに、この辞書にはフランスの国立図書館による鑑定書が挟んであって、この手書きの主のサインから、書き込みをしたのが誰なのかが検証してありました。本当に、一つの本からいろいろな情報が引き出せるものだと感心しました。また「辞書にはそれぞれ性格がある」と先生が言われました。確かにこの辞書にはその当時の使用目的があったわけです。そう思うと、現代の辞書だって、単に客観的な事実が書いてあるという単純なものではないのかもしれません。日頃は意識しませんが、今後もこのことを忘れないでおきたいものです。

他にも手書き本（手抄本）や巻き物（巻子本（かんすぼん））、箱入り本、近世の俗本など、いろいろな古書を見せてもらいました。本は昔は消費物ではなく財産だったのです。電子書籍には綴じ方とか印刷法などはありません。本というものの良さとは、ただ字がならんでいることではなく、本そのものから伝わってくる何かにあると思います。染みや虫食いや傷など、ちょっとしたことにも情報があるし、何より二百年も三百年も前の人が今私たちの目の前にあるこの同じ本を見ていた、ということにロマンを感じました。日頃なかなか実物を見ることの出来ない貴重書を通じていろいろなものを学べたと思います。最後に、毎週お世話になりました図書館の皆様、ありがとうございました。

2011年度　図書館カレンダー

図書館開館予定が一覧でご覧になれます。
各館ごとの臨時休館、開館時間の変更等は、図書館ホームページの【ニュース】でご案内いたします。

通常の開館時間

	名古屋図書館（NL）	ライブラリーサービスセンター（LSC）	法学文献センター（LLC）	豊田図書館（TL）
平　日	9：00　～　19：00	9：00　～　22：00	9：00　～　19：00	9：00　～　20：30
土曜日	9：00　～　12：30		9：00　～　12：30	9：00　～　17：30

無印は通常開館日
◯ の開館時間（全館　平日 9 ：00～17：00　土曜日 9 ：00～12：30）
◯ の開館時間（全館　平日 9 ：00～16：00　土曜日 9 ：00～12：00）
■ は休館日
● の開館時間（定期試験月の休日開館日　10：00～17：00（LSC のみ））

名古屋図書館（NL）

	日	月	火	水	木	金	土
4月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
5月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
6月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		
7月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
8月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
9月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

ライブラリーサービスセンター（LSC）

	日	月	火	水	木	金	土
4月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
5月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
6月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		
7月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
8月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
9月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

法学文献センター（LLC）

	日	月	火	水	木	金	土
4月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
5月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
6月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		
7月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
8月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
9月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

豊田図書館（TL）

	日	月	火	水	木	金	土
4月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
5月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
6月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		
7月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						
8月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
9月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

発　行　　中京大学図書館
〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2　TEL(052)-835-7157　http://www.chukyo-u.ac.jp/research_2/library/　印刷　株式会社 荒川印刷